

学校運営協議会 議事録

校名	府立淀川工科高等学校
校長名	駒井 知一

開催日時	令和6年11月22日(金) 15:00～16:00
開催場所	府立淀川工科高等学校 記念会館1階
出席者(委員)	川田会長、吉田委員、千石委員、大西委員
出席者(学校)	駒井校長、向山教頭、福井事務長、他13名
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度 学校経営計画進捗状況、他各分掌・各科系からの報告等
備考	

議題等(次第順)
・令和6年度 学校経営計画進捗状況 ・令和6年度 各分掌の取り組みの状況 ・令和6年度 各科・系の取り組みの状況
協議内容・承認事項等(意見の概要)

1) 学校経営計画及び学校評価について

2) 授業見学の意見・感想

Q. 授業内容が非常に興味深い。中学生が見たら興味を示すのではないかな。中学としては、希望する高校を1回は見に行くように指導。ミスマッチをなくすため。高校として、複数回実施してもらいたい。引き続き続けてほしい。本校実施の説明会にも来てもらいたい。

Q. 子供が主体的。教員も生徒も楽しそうに取り組んでいることが印象的だった。今後お互い楽しめる授業を期待している。

3) 各科・系の取り組みの状況について

Q. 進路で企業がたくさん来ているが、応募しないと求人が途切れるということはあるのか？

Q. インターンシップが採用につながることもあるのか。インターンシップをしたところを受験するのか？

A. 生徒による。インターンシップや、見学を経て決定している。進学が増えているので、送りたい企業に送れない実態がある。

Q. 傾向として、大企業なのか。

A. 会社の規模ではなく、自分のやりたいこと、将来を見据えて選ぶように指導している。

Q. 学校見学会で、枠が埋まってしまうのは、そもそもの枠が少ないのではないかな。

A. 教員スタッフの数に限りがあるので、限界である。今後の課題である。現在は、首席を中心に個別対応を実施している。

Q. 定員が割れているので、非常にもったいない。OB会を含めて対策を練ってもらいたい。

Q. 働き方改革について、ICT化の予算などはついているのか。

A. 教員にPCが配られた。教員定数が15人減り、業務が増えているのに、人が減っている、苦しい状況。

Q. 効率化を図るために、一元管理などを行っているのか。

A. 成績は一元管理を行っている。次は出欠管理に取り組みたい。

Q. 中学も働き方改革に取り組んでいる。出席簿は、来年度から守口市はデジタル化し、紙は配らない。

メールシステムで欠席連絡などは管理する。

部活については、平日の活動時間を制限している。クラブごとに延長時間もコントロールしている。

時間外勤務の多い教員のクラブは遠慮してもらうなど。市をあげて取り組んでいる。

A. 大阪府は、学校ごとの取り組みに委ねられている。

Q. 文化祭でアンケートを実施。「淀川に進学してよかった」という意見が100%。中でも、部活動に対する肯定的意見が多い。

次回の会議日程	
日時	1月中旬 課題研究の発表見学を兼ねたい【未定 後日調整】
会場	府立淀川工科高等学校 記念会館1階